

SHANNON LLC | AWS COST REDUCTION

AWSコスト削減診断

サービス資料

AWS の請求書、本当に最適化されていますか？ 請求書と Cost Explorer をお預かりして、削減見込み額を 2 週間でレポートにまとめます。



月額が一定規模を超えると、自社だけで最適化を続けるのは現実的ではなくなります

AWS 利用でよくある 6 つの状態。ひとつでも当てはまれば、診断の価値があります。



請求の内訳が分からない

毎月の AWS 請求が膨らんでいるが、何にいくらかかっているのか分からない。明細を開いても、内訳を説明できる人が社内にはいない。



RI / Savings Plans 未活用

「リザーブドインスタンス」「Savings Plans」を導入していない、または効いているか分からない。



未使用リソースの放置

使われていないリソース（停止 EC2、不要 EBS、未削除スナップショット）が放置されているはずだが、洗い出せていない。



過剰スペックの可能性

過去の見積もり時のスペックのまま、現状の負荷に対して過剰になっている可能性がある。サイズの根拠を検証した記録も残っていない。



転送料・NAT の想定超え

データ転送料・NAT Gateway 料が想定以上に出ている。どこから発生しているのか、発生源を特定できていない。



経営層からの要請

経営層からコスト削減策を求められているが、自社だけでは手が回らない。稟議に使える数字も用意できていない。

属人的な“心当たり探し”は不要です：これらはコスト発生領域を 30 項目に分けた定型チェックリストで、機械的に洗い出せます。次頁で診断の成果物をご説明します。

まず「いくら削れるか」を、2 週間・30 項目で数字にします

診断で得られる 3 つの数字。実際の削減幅は構成や事業フェーズによって変動します（以下は一般的な目安）。


-20～30%

月額削減幅（目安）

過剰スペック・未使用・購入プランの整理による目安


30項目

定型チェックリスト

コスト発生領域を 6 カテゴリに分けて全件確認


2週間

診断完了までの期間

権限お預かりから最短 10 営業日で納品

請求書・Cost Explorer の閲覧権限のお預かり → 30 項目の全件チェック → 削減見込み額レポートの提示（最短 10 営業日）

本番に変更を加えません：診断時の権限は **ReadOnlyAccess + Billing 閲覧のみ**で、リソースに変更を加えることは技術的に不可能な状態で作業します。診断のみで終了する選択も可能で、診断終了後は付与いただいた IAM ユーザーを削除いただけます。

※ 削減幅の実数は構成次第のため、診断後にレポートでお示しします。レポートは削減項目ごとに「リスク」「実装難易度」「想定削減額」を 3 段階で評価し、経営報告・予算稟議に使える形式で納品します。

※ 納品後は 1 時間の説明会で、レポートの内容と削減項目の優先順位をご説明します。

※ 実装するか・どの方式で実装するかは、レポートを見てからご判断いただけます。実装方式は内製／当社実装／削減額シェア型の 3 つから選べます（詳細は 8 ページ）。

コスト発生領域を 6 カテゴリ・30 項目で全件チェックします

診断スコープの全体マップ。バッジ A～F は次頁からの診断カテゴリに対応します。

AWS コスト構造の全体像			
A コンピューティング 稼働実績に対するサイズ・世代の適正化 B ストレージ・DB 保存クラスとバックアップ保持の見直し C ネットワーク NAT・データ転送の経路とCDN活用の見直し D 契約・購入 12ヶ月の実績から安全なコミット範囲を算出 E 未使用・低稼働 「停止しているのに課金」の洗い出し F 運用ガバナンス 再膨張を防ぐ予算アラート・タグ運用	EC2 / ECS	Lambda / Fargate	AMI / スナップショット
	EBS / S3	RDS / DynamoDB	バックアップ保持
	NAT Gateway	データ転送	CloudFront / Route 53
	Savings Plans / リザーブドインスタンス (RI)		
	停止 EC2 と関連リソース	未アタッチ EBS / IP	放置開発環境
	予算アラート	タグ運用	Cost Explorer での見える化

見直しの観点は3つ：A～C＝リソース／D＝購入プラン／E～F＝運用。次頁から各カテゴリの確認項目をご説明します。

※ 30 項目はコスト発生領域（EC2 / RDS / EBS / S3 / Network / IAM 等）を体系化した定型チェックリストです。



診断スコープ①（A～C）

“サイズと経路”を見直します

コスト削減につながる確認項目を体系化したチェックリストで、抜け漏れなく洗い出します。



A コンピューティング

01 COMPUTE

- ・ EC2 インスタンスサイズ最適化
- ・ 停止・起動スケジュール提案
- ・ Spot / Graviton 移行余地
- ・ ECS タスク CPU / Memory 設定
- ・ Lambda 同時実行・タイムアウト
- ・ 未使用 AMI / スナップショット

CPU 使用率・稼働時間の実測から、過剰スペックや停止し忘れのリソースを洗い出します。



B ストレージ・データベース

02 STORAGE

- ・ EBS ボリュームタイプ最適化
- ・ S3 ストレージクラス分類
- ・ 未削除スナップショット
- ・ RDS インスタンス・ストレージ
- ・ バックアップ保持期間
- ・ DynamoDB キャパシティモード

ストレージクラス・バックアップ・スナップショット保持期間を中心に見直します。



C ネットワーク・データ転送

03 NETWORK

- ・ NAT Gateway 経路の見直し
- ・ VPC Endpoint の活用
- ・ データ転送量の発生源特定
- ・ CloudFront キャッシュ最適化
- ・ Route 53 / Global Accelerator
- ・ マルチ AZ 構成の必要性

構成を変えるだけで大きく削れる箇所を、発生源の特定から確認します。

※ 過去の見積もり時のスペックのまま、現状の負荷に対して過剰になっているケースが典型です。CPU 使用率・稼働時間の実測から適正サイズを判定します。

診断スコープ②（D～F）

契約と運用まで踏み込みます

購入オプションの見直しと、診断後にコストが再び膨らまないための運用まで提案します。



D 購入プラン最適化

04 PURCHASE

Savings Plans・リザーブドインスタンスの活用余地を、過去 12 ヶ月の利用実績から算出し、コミットしても安全な範囲を提案します。

- Compute Savings Plans
- EC2 Instance Savings Plans
- RDS / ElastiCache RI
- 1 年・3 年コミットの試算
- 既存購入プランの効果測定
- 段階購入のスケジュール



E 未使用・低稼働リソース

05 IDLE

「停止しているのに課金されている」「使われていないのに走っている」リソースを洗い出し、再発防止のタグ運用まで提案します。

- 未アタッチ EBS / IP
- 停止 EC2 と関連リソース
- 低稼働 EC2 / RDS の洗い出し
- 未使用 LB / NAT Gateway
- 放置された開発環境
- タグ運用ルール提案



F 運用ガバナンス

06 GOVERNANCE

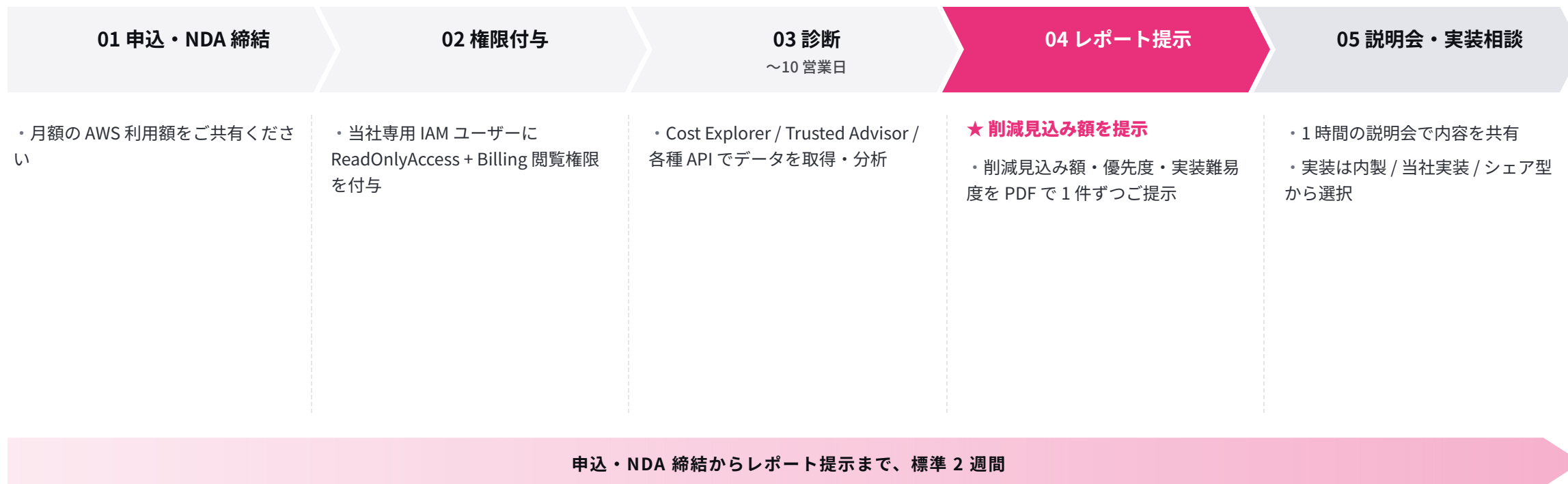
診断後にコストが再び膨らまないよう、予算アラートなど運用上のルール・通知体制を提案します。Cost Anomaly Detection の活用も含みます。

- 予算アラート設計
- Cost Anomaly Detection
- アカウント・組織構成
- 請求の見える化（Cost Explorer）
- FinOps プロセス提案
- 月次レビューの型

※ RI=リザーブドインスタンス。Savings Plans / RI のコミット試算は過去 12 ヶ月の利用実績にもとづき、安全にコミットできる範囲でご提案します。

ReadOnly 権限・最短 10 営業日で、削減見込みを数字にします

いただく権限は「**閲覧 (ReadOnly)**」のみで、本番リソースに変更を加えることはありません。



シニアエンジニアが診断：ツールの出力をそのまま渡すのではなく、構成全体を把握した上で「実装難易度」「副作用」も含めて提示します。診断は**固定価格**で、作業量による上振れはありません。

※ 複数アカウント / Organizations 構成にも対応します（Master アカウントから一括の Cost Explorer を見られる構成が前提。アカウント数が多い場合は別途見積り）。

診断は固定価格で単独購入でき、実装は3つの方式から選べます

実装は内製 / 当社実装 / 削減額シェア型から。診断のみで止める判断もできます。

まずはここから



DIAGNOSE | 診断レポート

30項目チェック

削減見込み額の算出

リスク・実装難易度・優先度つきレポート（PDF）

削減項目ごとに3段階で評価

1時間の説明会

向いているケース：経営報告・予算稟議に使いたい。診断は固定価格で、単独購入できます。



IMPLEMENT | 実装サポート

提案項目の実装支援

影響範囲のテスト含む

対応範囲・手順を事前に書面合意

サイズ最適化・購入プラン適用の実施

実装後の効果測定

向いているケース：自社だけでは実装に手が回らない。本業の合間では停滞しがちな実装を代行します。



SHARE | 削減額シェア型

初期費用なしで実装

削減後の実績で精算

条件は個別契約

診断レポート提示後に契約判断

一定規模以上の月額利用が条件

向いているケース：初期費用をかけずに削減を進めたい。実装後の効果測定にもとづいて精算します。

※ 料金は要件確定後に書面でご提示します。継続的なコストレビュー（月次・四半期の再診断リテイナー契約）もご用意しています。シェア型は一定規模以上の月額利用が条件です。

診断費用の回収可否は事前にお伝えします：月額利用が小さい場合は費用対効果が出にくいいため、無料相談時に簡易見積もりをお出しします。

“診断だけ頼める中立の専門家”という選択肢です

自社対応・大手パートナー依頼との比較 — AWS のコスト最適化は、進め方によって結果が変わります。

	SHANNON コスト削減診断	自社で削減を試みる	AWS パートナー大手に依頼
削減項目の網羅	◎ 30 項目で漏れなし	△ 網羅が困難・本業の合間で停滞	○ 担当者の稼働範囲に依存
RI / Savings Plans のコミット判断	◎ 12 ヶ月実績から試算	× 判断が難しい	○
診断のみの依頼	◎ 単独購入できる	—	× 長期契約が前提になりがち
効果測定・レポート	◎ 実装後の効果測定まで	× 体系が無い	△ 粒度がベンダー依存
費用構造	◎ 診断は固定価格・シェア型も可	○ 人件費のみ	× 固定費が高む

※ ◎＝標準対応 ○＝条件付き △＝限定的 ×＝困難。一般的な傾向の比較イメージです。

まずは2週間の診断から：削減見込みを数字にしてから、実装するか・どの方式で実装するかをご判断いただけます。

会社概要

社名	シャノン合同会社（SHANNON LIMITED LIABILITY COMPANY）
代表者	三浦 昌大（Masahiro Miura）
設立	2026年4月 （決算月：3月）
拠点	東京都豊島区池袋2丁目17-8 ／ 千葉県柏市若柴178-4 ／ 北海道札幌市中央区北二条東3丁目2番2号マルタビル8階
資本金	9,900,000円
取引銀行	三菱UFJ銀行 柏支店
事業内容	プロダクト開発・運営 ／ インフラ構築・運用 ／ エンジニアリングエージェンシー
パートナー	Xserverビジネスパートナー ／ Microsoft Cloud Partner Program
連絡先	電話 050-1794-9651 ／ contact@shannon.co.jp ／ https://shannon.co.jp

E.O.F

